

**【施策評価調査】**

施策名	1-2-4	道普請事業の推進		74	施策目的 町道の維持管理を迅速かつ効率的に行うため、地域住民との協働による道路整備・維持管理の技法を整えます。（「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋）
		高根沢町地域経営計画2006 該当ページ			
担当部課	建設産業部都市整備課	担当	都市整備課	リーダー	阿久津 靖
環境変化					施策内容 町道の維持管理を迅速かつ効率的に行うため、地域住民との協働による道路整備・維持管理の技法を整えます。（「高根沢町地域経営計画2006」からの抜粋）

**指標**

施策の評価指標	基準値	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
指標：道普請事業実施箇所数(箇所)	平成16年度事業実施箇所数 7箇所	計画	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所	10箇所
		実績	7箇所	3箇所	5箇所		
指標：		計画					
		実績					
指標：		計画					
		実績					
指標に関する特記事項							

施策に係る事業費(傘下事務事業費計)の推移	年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
	当初	10,834,000	5,700,000	5,599,000		
	決算	15,614,000	2,338,796	4,563,667		

**事務事業事後評価 20年度の検証**

施策傘下事務事業	事業費	活動量(アウトプット)	施策への貢献度	施策達成にどう貢献しましたか？(アウトカム)			
道普請事業費	当初 5,599,000	整備延長	B	計画では10箇所で総延長1500mの整備を予定していたが、結果的に5箇所で1023mの整備にとどまり、目標値は達成できなかったが、住民との協働による道路整備の目的は達成できている。			
	決算 4,563,667	1023m / 1500m		今後の方向性(自己評価)	継続	今後の方向性(総合評価)	継続
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	当初			今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	
	決算	/		今後の方向性(自己評価)		今後の方向性(総合評価)	

**施策事後評価 20年度の検証**

	施策達成状況に関する評価	課題と今後の方向性
自己評価	自分たちの道路を自分たちの手で整備することにより、地域住民の連帯感や道路に対する愛着の醸成を図ることができ、まちづくりの有効な手段ともなる。	今後、単独の事業が削減または廃止されることが予想されることから、当事業の積極的な展開が必要である。また、維持管理についてもシステムの構築を検討しなければならない。
総合評価	<p>継続的に施策展開されていると評価する。</p> <p>農道整備と整合性を図った上で、住民が主体的になって取組みやすい事業なのか、検証するとともに、後期計画策定に向け、積極的はどう施策展開していくのか、他の施策(特に協働との係り方)とつながりのある視点をもった施策展開を検討すること。</p>	